

クレソキシムメチル剤（ストロビードライフロアブル）によるリンゴ褐斑病の防除

園芸試験場

1 取り上げた理由

リンゴ褐斑病に対する新しい系統の薬剤として、ストロビードライフロアブルの実用性について検討した結果、対照薬剤（トモオキシラン水和剤）に優る効果が認められたので、参考資料とする。

2 参考資料

1) 薬剤名 クレソキシムメチル剤（商品名：ストロビードライフロアブル）

- a 有効成分：クレソキシムメチル 47%
- b 製剤（外観）：褐色細粒及び微粒
- c 毒性：普通物，魚毒性：B類
- d 安全使用基準：収穫前日まで，3回以内

2) 対象病害虫

- a リンゴ褐斑病

3) 使用方法

- a 使用時期：生育期（本県では6月下旬頃が散布適期）
- b 使用濃度：2,000倍
- c 使用方法：散布

3 利活用の留意点

- 1) 散布液の調整は、水をかき混ぜながら本剤の所要量を徐々に加える。
- 2) ボルドー液との混用は避ける。
- 3) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用する。
- 4) 本剤は、弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちに水洗する。
- 5) 開花期以降のオウトウには、薬害が生じる恐れがあるので、周辺にある場合にはかからないように注意する。
- 6) リンゴの他病害に対する登録内容：黒点病・黒星病・うどんこ病・モニリア病(3,000倍)，斑点落葉病・赤星病(1,500～3,000倍)，輪紋病・すす点（斑）病・炭疽病（2,000倍）

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

果樹難防除病害虫の発生生態と防除法の確立 平成7年

リンゴ褐斑病の防除技術の確立 平成8年

新農薬による病害虫防除法 平成7～8年

2) 参考データ

表－1 褐斑病に対する防除効果（平成7年）

供試薬剤	希釈倍数	7月26日調査			8月11日調査			葉害
		調査葉数	発病葉率	落葉*	調査葉数	発病葉率	落葉*	
ストロビー トライフロアブル	2,000倍	756.0	11.6	2.3	955.3	14.3	6.4	—
トモオキシラン水和剤	500倍	817.7	11.9	6.5	919.0	28.2	12.2	—
無散布	—	779.7	21.6	14.5	901.7	55.8	24.6	

表－2 褐斑病に対する防除効果（平成8年）

供試薬剤	希釈倍数	7月26日調査			8月16日調査			葉害
		調査葉数	発病葉率	落葉*	調査葉数	発病葉率	落葉*	
ストロビー トライフロアブル	2,000倍	558.0	0.8	0.5	704.3	0.8	0.2	—
トモオキシラン水和剤	500倍	625.0	2.1	1.0	742.7	3.6	0.8	—
無散布	—	530.7	8.1	3.8	647.7	10.8	5.1	

*表－1, 2ともに落葉率は発病葉率の内数

※ 本剤の価格は500gで8,000円程度
包装単位は250g, 500gの2種類

3) 発表論文等

なし